

11月16日(月)	名前	所属	タイトル	
9:30	川口則幸	国立天文台	はじめに	
<b>セッション1：研究成果報告(技術)：座長・三澤(東北大)</b>				
9:35	川口則幸	国立天文台	ラジオメータ・フェーズドアレイの雑音温度校正	
9:50	増井 翔	大阪府立大学	210-365 GHz帯 広帯域円偏波分離器の開発	
10:05	堤稔喜	山口大学/NRO	野辺山45m電波望遠鏡における3帯域同時VLBI観測の実現を目指した86 GHz 帯受信機の立ち上げ及び試験観測	
10:20	長谷川豊	大阪府立大学	VLBI 観測受信機システムの開発進捗 @ 大阪府立大学	
10:35	休憩(10)			
10:45	氏原秀樹	情報通信研究機構	広帯域アンテナの開発	
11:00	川上泰輝	茨城大学	茨城32m電波望遠鏡搭載用 6-23 GHz 受信機の開発	
11:15	上地康仁	茨城大学	茨城32m電波望遠鏡用6-9GHz広帯域受信機用ポラライザの開発	
<b>セッション2：ポスター講演ショートトーク(学生)：座長・元木(山口大)</b>				
11:30	3分 x 4件 質疑応答5分	榊原将吾	山口大学	山口第一電波望遠鏡におけるノイズソースを用いたシステム雑音温度測定法の構築
		兵藤克樹	山口大学	山口日立基線によるスイッチング位相補償観測の実証試験
		穂本正徳	山口大学	山口干渉計を用いたX線連星GRS1915+105の強度変動観測と電波放射領域の放射モデルの適用可能性
		小倉達也	山口大学	高感度短基線VLBIを用いた核融合開始直後の大質量星に付随する極小HII領域探査
11:47	3分 x 3件 質疑応答4分	橋本真雄	鹿児島大学	VERAによるOH/IR星RAFGL5201の年周視差測定
		大島夕佳	鹿児島大学	VERA入来局単一鏡観測による、OH/IR星のH <sub>2</sub> O、SiOメーザーのモニタリング
		樋森舜	山口大学	アウトフローに付随する可能性のある6.7 GHzメタノールメーザー源に対するJVN観測
12:00	昼休み(60)			
<b>セッション3：研究成果報告(天文1)：座長・元木(山口大)</b>				
13:00	中村 桃太郎	山口大学	6.7 GHz メタノールメーザーは大質量原始星からの「円盤風」に付随する？ - G59.783+0.065 の星周構造の研究 -	
13:15	平原慶裕	茨城大学	6.7 GHz メタノールメーザーの円偏波率の時間変動	
13:30	渡辺雅人	茨城大学	大質量星形成領域G33.641-0.228に付随する6.7GHzメタノールメーザー源の強度変動周期の安定性	
13:45	守田篤史	鹿児島大学	VERAを用いた周期の長いOH/IR星の位置天文観測	
<b>セッション4：機関報告：座長・赤堀(国立天文台)</b>				
14:00	村田泰宏	JAXA	JAXA美笹54mアンテナの状況	
14:15	古屋 玲	徳島大学	東アジア天文台：国際協力のもうひとつの拠点	
14:30	休憩(10)			
<b>セッション5：将来計画1：座長・赤堀(国立天文台)</b>				
14:40	北 元	東北工業大学	招待講演：惑星電波の干渉計観測とSKAに向けた取り組み	
15:10	元木業人	山口大学	大質量星形成～次の20年で知りたいこと～	
15:30	永井 洋	国立天文台	ngVLAの紹介とサイエンスワーキンググループの活動報告	
15:50	小林秀行	国立天文台	SKAの現状と日本の参加プラン	
16:10	小林秀行	国立天文台	議論(将来の大型装置)	
16:55	休憩(5)			
17:00	総会			

11月17日(火)	名前	所属	タイトル
<b>セッション6：研究成果報告(天文2)：座長・秦(国立天文台)</b>			
9:30	赤堀卓也	国立天文台	不死鳥は甦るか？一冷えた銀河団の中心で生まれた若いジェットを発見
9:45	澤田-佐藤 聡子	山口大学	ミリ波VLBIとALMAが暴いた近傍電波銀河核周領域の描像
10:00	藤本 恭平	山口大学	ガンマ線放射源と位置的に対応する若いAGN ジェット 候補 NVSS J1129-0528の観測的研究
10:15	高村美恵子	東京大学	インバンドファラデー回転を用いた狭輝線セイファート1型銀河 1H0323+342のパーセクスケールの探査
10:30	鶴田大樹	山口大学	宇宙年齢10億年以前に存在する活動銀河核ジェットのVLBI検出観測
10:45	古谷庸介	山口大学	JVN高感度少数基線によるHigh-z AGNジェットの大规模VLBI探査
11:00	休憩 (10)		
<b>セッション7：研究成果報告(測地)：座長・寺家(国立天文台)</b>			
11:10	大坪俊通 他	一橋大学	招待講演：GGOS Japan: グローバル宇宙測地推進剤として
11:40	関戸 衛	情報通信研究機構	広帯域・小型VLBIによる光格子時計の長距離周波数比較・測地 一誤差要因の検討と展望—
11:55	林 京之介	国土地理院	Intensive2観測データを用いたK5とDiFXの相関処理結果の比較
12:10	昼休み (80)		
<b>セッション8：将来計画2：座長・新沼/藤澤(山口大)</b>			
13:30	土居明広	JAXA	スペースVLBI技術調査会の検討状況
13:50	秦和弘	国立天文台	EAVNの現状と将来
14:10	藤沢健太	山口大学	大学VLBI連携の現状と将来計画
14:30	赤堀卓也	国立天文台	MONSTER計画
14:50	休憩 (10)		
15:00	新沼浩太郎	山口大学	VLBI将来計画ワーキンググループ活動報告
15:20	廣田朋也	国立天文台	VERAサイエンスの現状と将来
15:40	本間希樹	国立天文台	水沢VLBI観測所の現状と将来
16:00	議論 (VLBIコミュニティの将来計画)		
17:00	川口則幸	国立天文台	表彰式、閉会のことば

ポスター講演	名前	所属	タイトル
P01	小林秀行	国立天文台	Global VLBI Consortiumについて
P02	赤堀卓也	国立天文台	臼田局周辺のUHF帯域電波環境
P03	中川亜紀治	鹿児島大学	VERAによる位置天文観測が示唆する長周期OH/IR星の新たな周期光度関係
P04	田辺義浩	茨城大学	茨城局機関報告 日立32m電波望遠鏡を用いたモニター観測について
P05	大島夕佳 中島 和也	鹿児島大学	VERA入来局単一鏡観測による、OH/IR星のH <sub>2</sub> O、SiOメーザーのモニタリング
P07	米倉覚則	茨城大学	茨城局機関報告
P08	三澤浩昭	東北大学	メートル波帯VLBI観測に向けて：飯館観測所の電波環境
P09	小倉達也	山口大学	高感度短基線VLBIを用いた核融合開始直後の大質量星に付随する極小HII領域探査
P10	橋本真雄	鹿児島大学	VERAによるOH/IR星RAFGL5201の年周視差測定
P11	藤沢健太	山口大学	山口干渉計を用いたOTF干渉計実験
P12	藤沢健太	山口大学	山口大学機関報告
P13	河野裕介	国立天文台	気球VLBI計画2020年報告と2021年の計画
P14	亀谷 収	国立天文台	国立天文台水沢10m鏡の現状と今後
P15	樋森舜	山口大学	アウトフローに付随する可能性のある6.7 GHzメタノールメーザー源に対するJVN観測
P16	兵藤克樹	山口大学	山口日立基線によるスイッチング位相補償観測の実証試験
P17	穂本正徳	山口大学	山口干渉計を用いたX線連星GRS1915+105の強度変動観測と電波放射領域の放射モデルの適用可能性
P18	榊原将吾	山口大学	山口第一電波望遠鏡におけるノイズソースを用いたシステム雑音温度測定法の構築